



## フレキシブルな勤務形態をさらに拡充 ボッシュが在宅勤務のさらなる浸透を目指し 職場での電話とインターネットの私的利用を許可 「出社」ではなく、結果を重視

2014年10月10日  
PI 8721 RB Ka/af

- ▶ 在宅勤務を浸透させるために規定を導入
- ▶ 職場での E メール、電話とインターネットの私的利用を許可
- ▶ キューベル人事担当取締役:「フレックスタイム勤務モデルを一般的なものとして浸透させていきたい」
- ▶ 連合職場評議会のレックレ会長:「規定が明確になり、従業員により大きな選択の自由を」

シュトゥットガルト – 在宅勤務の浸透を目指し、ボッシュは一連の規定を導入したほか、職場でのEメール、電話とインターネットの私的利用を許可することにしました。ボッシュは、この規定を通じて、会社に「出社」していることよりも、仕事の結果を重視したフレキシブルな勤務形態をより浸透させると同時に、ワークライフ バランスの向上にもつなげていきたいと考えています。ボッシュは連合職場評議会とともに、ドイツのボッシュの従業員に適用する2つの新たな労働協約の協議を進めています。また最近では、家庭にやさしいフレキシブルな勤務形態に関するガイドラインが導入されました。

### 勤務形態の変革を通じてより高い自由度と創造性を醸成

ロバート・ボッシュ GmbH で取締役会メンバーとして人事労使を担当するクリストフ・キューベルはこう述べます。「フレックスタイム勤務モデルには大きな利点があると考えており、勤務形態の変革をさらに推し進めていくつもりです。いつ、どこで働くかを従業員が自由に決められるようになると、仕事に対する満足度が向上し、生産性が上がり、より良い結果も期待できるからです」。そのために、ボッシュは在宅勤務を一般的な勤務形態として浸透させていこうとしていると、キューベルは補足しました。

### フレックスタイムをより簡単に選択可能

ボッシュでは、すでに在宅勤務を選択できるようになっていますが、一般の従業員と管理職向けの規定がより簡素化されたことで、いつ、どこで働くかをより容易に選べるようになりました。従業員が自宅や他の場所で一時的に勤務する際には、これまでは事前に上司の許可を得る必要がありましたが、今後は従業員各自が仕事をするにふさわし



い場所で仕事をこなす権利をもちます。また、製造分野でも同様に、パートタイム勤務や交代制勤務などのシフト調整を含めたフレキシブルな勤務ソリューションが導入されます。連合職場評議会会長のアルフレド・レックレはこう述べます。「フレキシブルな勤務シフト体制は、企業だけでなく、従業員にとっても同程度のメリットがあります。従業員はこの体制を通じて家庭と仕事、それぞれで果たさなくてはならない役割のバランスを図ることができ、結果的には事業の利益にもつながっていくことを目指していきます」

### **職場でのEメール、電話とインターネットの私的利用を許可**

ボッシュの従業員は今後、昼休みにネットサーフィンやネットバンキングなどをしたい時に会社のPCを利用できるようになったほか、私用に会社の電話やEメール アドレスを使用することができます。仕事とプライベートな時間がより密接につながるようになってきたため、従業員の日々の仕事の負荷を少しでも軽減できるよう、ボッシュはこれを許可することにしました。シュトゥットガルト・フォイヤバッハのボッシュ工場で生産プランナーとして働くアルネ・ブリクセルはこう述べます。「私は個人でスマートフォンを所有していますが、乗車券の予約や支払いはPCで行った方が便利なので、とても助かります」

### **より明確な規定を導入し、ワークライフ バランスを向上**

ボッシュはすでに、ジョブ シェアリング、在宅勤務やさまざまなパートタイム オプションなど、100以上の勤務モデルを用意しています。「新たな規定を通じて、仕事とプライベートをより明確に区別できるようにしていきたいと考えています。また、休み時間や邪魔をされたくない時間なども設定できるようにするつもりです」とレックレは述べます。一般従業員と管理職向けのガイドラインは、在宅勤務の利点を最大限に活かし、従業員が在宅勤務を自由に選択できるようにするために作成されました。在宅勤務において管理職が特に重要な責任を担っているとレックレは考えています。管理職は、従業員が単に会社に「入社」していることが、しっかりと仕事をこなしているわけではないことを理解して受け入れ、勤怠を基本とする考え方を捨て去る努力をしていく必要があります。

### **「入社」ではなく、結果を重視**

在宅勤務のための統一規則には、勤務時間の記録、保険の補償範囲や情報セキュリティなど、従業員が疑問に思う内容がしっかり説明されています。雇用法と労働協約に従い、在宅勤務中の労働時間は通常と同じように記録され、平日に休暇をとり、仕事を土曜にこなすこともできます。ボッシュは、在宅勤務に対する明確な姿勢を示すことが、ワークライフ バランスの向上につながる重要なステップになると考えています。サーモテクノロジー事業部のローラー拠点で技術部門の部門長を務めるアンネ・カーターはこう述べます。「私のチームのスタッフの多くは、PCや携帯電話を使いこなし、自宅でも会社と同じように能率良く仕事をこなしています。また、ソーシャル ネットワークの『Bosch Connect』も、働く時間や場所に限定されることなく協働作業を行うために大きな力となっています」

HP:

ボッシュの採用情報: [www.bosch-career.com](http://www.bosch-career.com)

ボッシュのフレキシブルな勤務形態に関するガイドライン: <http://bit.ly/ZRVR5Z>



ボッシュのワークライフ バランス: <http://bit.ly/1vQqaDN>

**動画:**

MOREプロジェクト:ボッシュの管理職がフレックスタイム勤務モデルにチャレンジ(ドイツ語): [http://youtu.be/d5rQBjMrj\\_g](http://youtu.be/d5rQBjMrj_g)

**バックグラウンド情報:**

プレスリリース「ボッシュが家庭にやさしい労働環境の確立に尽力」:  
<http://bit.ly/1r6eVqV>

プレスリリース「ボッシュの500人の管理職がフレックスタイム勤務モデルにチャレンジ」:  
<http://bit.ly/1ndWeBU>

**報道用画像:** 1-PE-20638、1-PE-20639、1-RB-19234、1-RB-19233、1-RB-19238、1-RB-19239、1-RB-19240

**報道関係対応窓口:**

Sven Kahn

電話: +49 711 811-6415

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディング・カンパニーです。2013年の従業員数は約281,000人、売上高は461億ユーロを計上しています(注: 会計方針の変更のため、今回公表する2013年のデータと昨年発表した2012年データは、限定的な範囲での比較)。事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・建築関連テクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbHとその子会社約360社、世界約50カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売、サービス代理店のネットワークを加えると、世界の約150カ国で事業展開しています。この開発、製造、販売のグローバル・ネットワークが、ボッシュのさらなる成長の基盤です。

ボッシュは2013年に約45億ユーロもの金額を研究開発に投資しました。さらに全世界では5,000件以上の国際特許の基礎特許(第一国出願)を出願しています(1日あたり平均20件の出願数)。私たちは革新的で有益なソリューションを提供し、そのすべての製品とサービスを通して、人々を魅了し、人々の生活の質を向上させることを目的にしています。この方針に基づき、ボッシュは全世界において人と社会に役立つ革新のテクノロジーを提供し続けていきます。それこそが「Invented for life」です。

ボッシュの起源は、1886年に創業者ロバート・ボッシュ(1861~1942)がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの財務上の独立性と企業としての自立性を保証するものです。「株主(利益配当)」と「経営(議決権)」が完全に分離した企業形態によって、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式の大半は非営利組織である公益法人「ロバート・ボッシュ財団」(持株比率92%、議決権なし)が保有しています。議決権の大部分は株主の事業機能実行機関である共同経営者会「ロバート・ボッシュ工業信託合資会社」が保有しています。残りの株式と議決権は創業家であるボッシュ家とロバート・ボッシュ GmbH が保有しています。

さらに詳しい情報は [www.bosch.com](http://www.bosch.com) ボッシュ・グローバル・ウェブサイト(英文)[www.bosch-press.com](http://www.bosch-press.com) ボッシュ・メディア・サービス(英文)、ツイッター<http://twitter.com/BoschPresse> を参照してください。